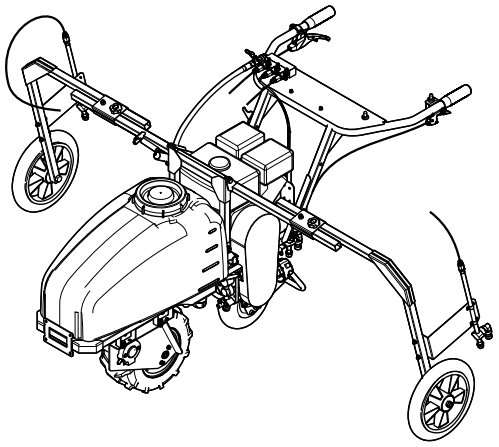
KIORITZ

共立畝間タンクスプレーカ

取 扱 説 明 書

型　　式

TSP50V-KN/W



⚠ 警　告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

●製品の使用目的
・この製品は4サイクルエンジン畝間タンクスプレーカです。防除・除草剤散布に使用してください。
・目的以外に使用しないでください。
●製品の使用者について
・この製品は取扱説明書をよく読んで十分に熟知した人が使用してください。
・取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労など体調のよくない人、16歳未満の人は製品を使用しないでください。
●取扱説明書について
・本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。
・本書はいつでも読めるように必ず保管してください。
・本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。
・単位はSI単位（国際単位系）を使用しています。（ ）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。
●製品の貸与、譲渡
・本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。
●保証書
・この製品には保証書が同梱されています。
・使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、保証の対象外になりますのでご注意ください。
・詳しくは保証書をお読みください。
●お問い合わせ先
・この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命はお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。
●おことわり
・本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
・本製品は一部部品の組立作業が必要となります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。

目　　次

⚠安全にご使用いただくために..... 3
■警告表示..... 3
■その他の表示..... 3
■シンボルマーク..... 3
■警告表示ラベルの貼付け位置..... 4
■燃料の取扱い..... 5
■エンジンの取扱い..... 6
■製品の取扱い..... 7
１．梱包部品一覧..... 11
２．各部の名称と機能..... 12
３．作業前の準備..... 14
3-1　組立..... 14
3-2　薬液の準備..... 15
3-3　燃料の補給..... 16
４．エンジンの運転..... 17
５．移動・走行..... 17
5-1　輸送..... 17
5-2　走行..... 19
６．噴霧作業..... 20
７．点検・整備..... 21
7-1　点検・整備の目安..... 21
7-2　点検・整備要領..... 21
7-3　故障診断表..... 23
7-4　長期保管（３０日以上）..... 24
８．仕様..... 25
8-1　主要諸元..... 25
8-2　配線図..... 26
索　引..... 27

⚠ 安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

■警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

■その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

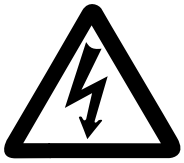
	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

■シンボルマーク

本書と製品ではシンボルマークを使って説明しています。各シンボルマークの意味を十分に理解してください。

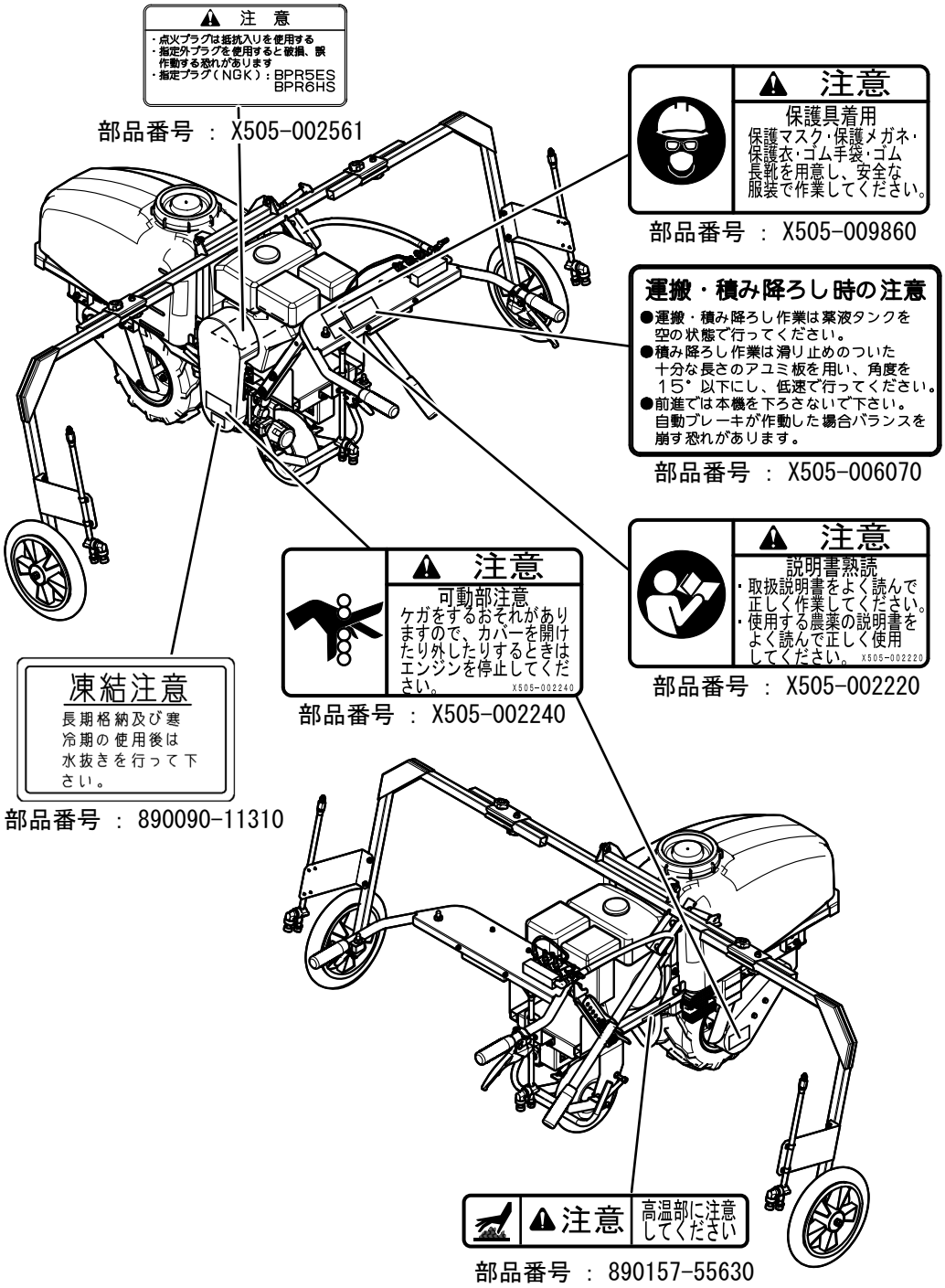
シンボルマーク	シンボルマークの意味	シンボルマーク	シンボルマークの意味
	ご使用前に取扱説明書を読み、正しく作業すること。		電気ショックに注意すること。
	作業中は、保護具を必ず着用すること。		高温部に注意すること。
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと。		回転部の巻き込まれに注意すること。
	火災に注意すること。		毒性に注意すること。

⚠ 安全にご使用いただくために

■警告表示ラベルの貼付け位置

・本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。ご使用前にラベルの意味を理解してください。

・ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



⚠ 安全にご使用いただくために

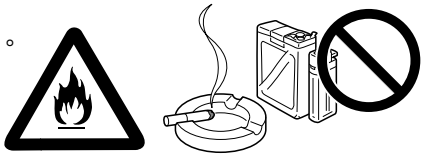
・ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
・本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。
☆印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

■燃料の取扱い

⚠ 危　険

●燃料給油時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。次の項目を必ず守ってください。
・ 燃料給油中にタバコを吸ったり、火花を近づけない
・ エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料補給をしない
☆燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警　告

●静電気は火災の原因

ガソリンは容器内部で揺られると、静電気を帯びやすい性質を持っています。給油時の放電による火災を防ぐため、次の項目を守ってください。
・ 運搬に用いた鋼板製のガソリン携行缶は、地面に置いて静電気を逃がす。
・ 作業者は、給油前に手のひらを地面や金属などに押し当てて、自身の静電気を逃がす。
・ 製品は、エンジンを停止のまま十分に冷えた状態になるまで地面に置き、静電気のレベルを下げる。
・ 燃料給油時に、金属製の漏斗（ろうと）を使用しな湿度の低いときは、燃料容器や製品の燃料タンクを乾いた布で拭かない。
☆静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

● こぼれた燃料は火災の原因

燃料給油時はこぼれないように注意し、次の項目を守ってください。
・ 燃料タンクの口元まで給油しない
・ 燃料がこぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る
・ 燃料を給油した後は燃料タンクのふたを確実に締付ける
☆こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。



●燃料補給地でのエンジン始動禁止

・ 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から 3m 以上移動してください。
☆燃料補給時の漏れた燃料に引火し火災の原因となります。

● 燃料漏れは火災の原因

・ 作業前や作業後に、必ず燃料タンクや燃料ホースから燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。
・ 燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
☆燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



●ポリ容器での燃料運搬・保管は禁止

燃料はできるだけ使い切ってください。燃料を運搬あるいは保管する場合は、次の項目を守ってください。
・ 鋼板製のガソリン携行缶で運搬・保管
・ 保管期間は１ケ月程度
・ ポリ容器やペットボトルに燃料を入れて運搬・保管することは禁止
☆ ポリ容器での運搬や保管は法律で禁止されており、火災の原因となります。

⚠ 安全にご使用いただくために

■エンジンの取扱い

⚠ 警　告

●エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目を守ってください。

・ 製品を平坦で通気性の良い、可燃物のない場所に置く
・ 燃料が漏れていないか確認
・ 燃料戻りパイプが折れ曲がっていないか確認
☆ 火災の原因になります。
・ ボルトやナット類にゆるみがないことを確認
・ 薬液タンクキャップはしっかり締付ける
・ 周囲は広くとり、人や動物を近づけない
・ 障害物は取除く
・ ノズルコックは閉じる
・ 調圧ダイヤルは「始動」位置
・ ポンプクラッチは「切」
☆ 始動前の注意を怠ると、事故や重傷を負う原因となります

●始動後は異常振動・異常音の確認

・ エンジンを始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は製品を使用しないでください。販売店に修理を依頼してください。
☆部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。

・ マフラやシリンダなどの高温部
☆高温部に触れると火傷します。



・ スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部
☆運転中に高電圧部に触れると感電します。



●発火・発煙したらまず安全確保

・ エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、まず身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
・ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。
☆あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

●排気ガスは有毒

・ エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。
☆排気ガスによる中毒事故の原因となります。



●点検・整備時はエンジン停止

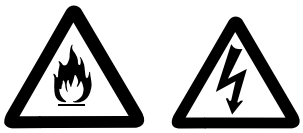
作業後に製品の点検・整備を行なう場合は次の項目を守ってください。

・ エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備
☆ 火災の原因になります。
・ スパークプラグキャップを外して点検・整備
☆突然の始動により事故を起こすことがあります。

●スパークプラグの点検

スパークプラグの点検では次の項目を守ってください。

・ 電極やターミナルの摩耗、ガイシに亀裂がある場合は新品と交換
・ スパークプラグの火花を確認する発火テストは販売店に依頼
・ シリンダのプラグ孔付近での発火テストは禁止
・ 燃料がこぼれたり、燃えやすいガスがある場所での発火テストは禁止
・ スパークプラグの金属部に触れることは禁止
☆引火による火災および感電事故の原因となります。
スパークプラグは必ずＢＰＲ６ＨＳを使用してください。



☆電子部品を使用しているため、誤作動、故障・発火の原因となります。

⚠ 安全にご使用いただくために

■製品の取扱い

■ 一般的なご注意

⚠ 警　告

●取扱説明書

・ ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の使用目的以外の使用禁止

・ 製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用しないでください。

☆事故や重傷を負う原因となります。

●製品の改造禁止

・ 製品を改造しないでください。

☆事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

●点検・整備をしていない製品の使用・

・点検・整備をしていない製品を使用しないでください。定期的な点検・整備を必ず行なってください。

☆事故や重傷を負う原因となります。

●点検・整備時は平坦な場所で

製品の点検・整備を行なう場合は、特に次の項目を守ってください。

・ 平坦な場所に置く
・ 軟弱地や傾斜地では行なわない

☆転倒により、傷害を負う原因となります。

●製品の貸与、譲渡

・ 製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
・ 製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。

☆事故や重傷を負う原因となります。

●ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。

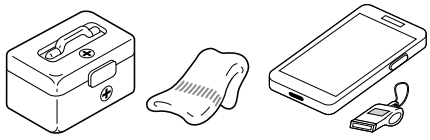
・ 救急箱（応急手当用）
・ タオルやてぬぐい（止血用）
・ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

☆緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。

特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。

単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。



■ 作業上のご注意

⚠ 警　告

●製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。



・ 疲労している人
・ 酒を飲んでいる人
・ 薬物を服用している人
・ 妊娠している人
・ 体調不良の人
・ 取扱説明書を読んでいない人
・ 16 歳未満の人
・ 農薬の影響を受けやすい人

☆事故の原因となります。

●製品の使用環境・作業環境

次のような場合は製品を使用しないでください。

・ 降雨時や落雷の恐れがあるとき
・ 急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所
・ 夜間や視界が悪く暗い場所

☆転倒や滑落、誤った操作などにより重傷を負う原因となります。

●健康管理

・ 健康のために、休憩を取りながら余裕を持って作業してください。
・ 長時間の連続作業は避け、2 時間を限度としてください。

☆健康障害を受ける恐れがあります。

⚠ 安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

●薬液の取扱い

・ 薬液はタンクからあふれるほどの量を入れないでください。また、こぼれた薬液はすぐに拭き取ってください。
・ 薬液タンクキャップはしっかりと締め、運転時に薬液が漏れないようにしてください。
☆ こぼれたり漏れた薬液は、放置しておくと薬害の原因となります。

●薬液ストレーナは正しく付ける

・ 薬液ストレーナは常に薬液タンクロに正しく付けておいてください。
☆ かくはん水の勢いが強いので、運転作業中、薬液残量が少なくなると、薬液タンクキャップのブリーザ孔から薬液が漏れることがあります。

●製品使用時

製品を使用するときは、特に次の項目を守ってください。
・ 作業場所に、作業に関係のない人や動物を近づかせない
・ ノズルを人や動物に向けない
・ 足場の悪い場所では製品を使わない
・ ハンドルはしっかりと握る
・ バランスを失わないように注意する
・ 夜間、夜遅くまたは朝早く近隣の人に騒音で迷惑をかけるときは、製品を使用しない
☆ 事故や傷害の原因となります。

●製品は常に正立状態で使用

・ 製品は真直ぐに立てた状態で使用するよう設計されています。使用時および移動時に、横にしたり極端に傾けたりしないでください。
☆ 燃料漏れや薬液漏れの原因となります。

●運転中は薬液タンクキャップをゆるめない

・ エンジン運転中に、薬液タンクキャップをゆるめたり開けたりしないでください。
☆ 薬液が吹き出し、事故の原因となります。

●異常時は直ちにエンジン停止

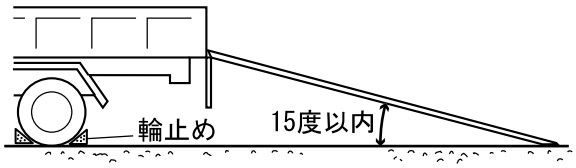
・ 作業中に製品が突然異常な音を発したり、異常な振動をした場合は、直ちにエンジンを停止してください。
異常振動・異常音がある場合は製品を使用しないでください。販売店に修理を依頼してください。
☆ 故障した製品をそのまま使用すると、事故や傷害の原因となります。

●停車時

停車するときは、特に次の項目を守ってください。
・ 不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かない
・ 製品から離れるときは、エンジンを停止する
☆ 事故や傷害の原因となります 。

●輸送・移動時

製品を自動車に積み降ろしをするときは以下のことに注意してください。
・ 薬液タンクをカラにしてください。
・ アユミは強度、幅、長さ（傾斜角度が 15 度以内となる）が十分にあり、滑り止め、フックがあるものを使用してください。
・ アユミは自動車の荷台に平行に掛け、フックが外れないことを確認してください。
・ 積み込むときは必ず前進、低速走行してください。
・ 前進で製品を降ろさないでください。
☆ 転倒・転落などの事故の原因となります 。



・ 製品を輸送・移動するときは、正立状態で動かないようにしっかり固定してください。
☆ エンジンの燃料タンク、キャブレタから燃料が漏れ、火災の原因となります 。

●製品の保管場所

・ 燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に製品を保管しないでください 。
・ 必ず正立状態で保管してください。
☆ 火災の原因となります 。

⚠ 安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

●第三者の立入禁止

・ 作業を行なう場所をよく調べ、作業関係者以外の人・子供・家畜・養蚕・養蜂・他の作物などが近くにないことを確認してください。

☆ 無防備な第三者の薬害事故や、環境被害の原因となります。

●悪条件下での作業禁止

・ 夜間や視界が悪く暗い場所では、製品による噴霧作業をしないでください。

☆操作ミスによる事故や薬害の恐れがあります。

・ 風が強いときには噴霧作業を行なわないでください。薬液の分散を防ぐため、噴霧作業は風のない温度が安定している朝、または夕方を選んで行なってください。

☆風に乗って予期しない方向へ農薬が飛び、薬害事故を引起こす原因となります。

・ 噴霧は、風下に向かって行なってください。

☆作業者側に薬液が飛ぶ原因となります。

●作業中の飲食禁止

・ 薬液の噴霧作業をしながら、タバコを吸ったり食べ物・飲み物をとったりしないでください。

☆タバコや飲食物に付着した農薬が、それらを介して体内にはいる恐れがあります。

●農薬噴霧後の圃場には立入らない

・ 農薬噴霧直後の圃場に無防備で立入らないでください。除草などの管理作業はあらかじめ行なっておきます。

・ 第三者の立入にも注意してください。

☆噴霧された農薬による薬害事故の原因となります。

●身体に異常を感じたら

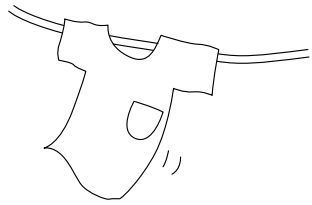
・ 作業中あるいは作業終了後に身体に異常を感じたときは、すぐに医師の診察を受け、使用していた農薬の種類を告げてください。

☆処置が遅れることにより、重大な薬害につながることがあります。

●作業時の着衣は、他と別に洗濯

・ 薬液噴霧作業中に着ていた服は、他の衣服とは別に洗濯してください。

☆付着した農薬が、他の衣服に移る恐れがあります。



⚠ 安全にご使用いただくために

■ 農薬使用上の留意点

農薬取締法が改正されました。

・平成 15 年 3 月の農薬取締法改正にともなう省令に基づく使用基準により

（1）使用する作物に登録のある農薬を使用すること

（2）使用濃度（希釈倍率）および面積あたりの使用量

（3）収穫前使用日数

（4）使用回数

の 4 点については農薬使用者が遵守する義務が生じています。

⚠ 警　告

●農薬の取扱い

・ 農薬の取扱いにあたっては、農薬ラベルをよく読み、必ず記載されている事項を確認してください。

・ 製品ならびに農薬の知識を持たない人が、農薬を取扱わないでください。

☆ 農薬の誤った使用は、重大な薬害事故の原因となります。

●農薬は必ず使い切る

・ 農薬は残らないよう調製し、必ず使い切ってください。

☆第三者が農薬と知らずに誤って飲み込むなど、重大な薬害事故を引起こす恐れがあります。

●農薬使用上の注意

・ 農薬噴霧時は、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。農薬に直接触れないよう注意してください。

・ 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

・ 農薬が目に入らないように注意してください。

・ 誤飲、誤食に注意してください。誤って飲み込んだ場合は、吐き出し、直ちに医師の手当てを受けてください。また、農薬使用中に異常を感じたときは、直ちに医師の手当てを受けてください。

・ また、農薬の種類によっては、
◇農薬が目に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
◇かぶれを生ずる場合がありますので注意が必要です。また、かぶれやすい人は、使用を控える必要があります。

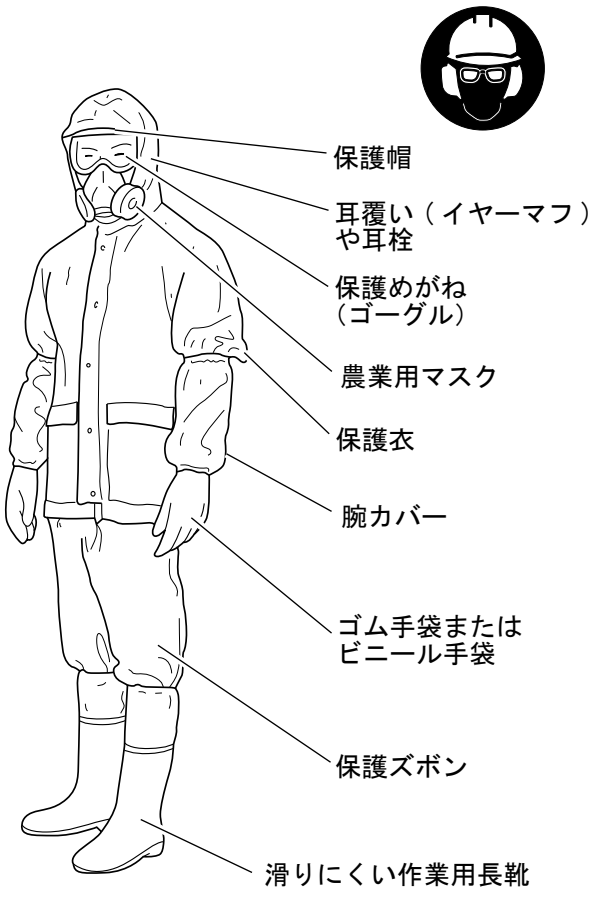
・ 環境へ配慮した使用が必要です。
◇防除対象作物以外への飛散がないよう注意してください。

・ 農薬は、子供の手が届かない場所に保管してください。

●保護具の着用

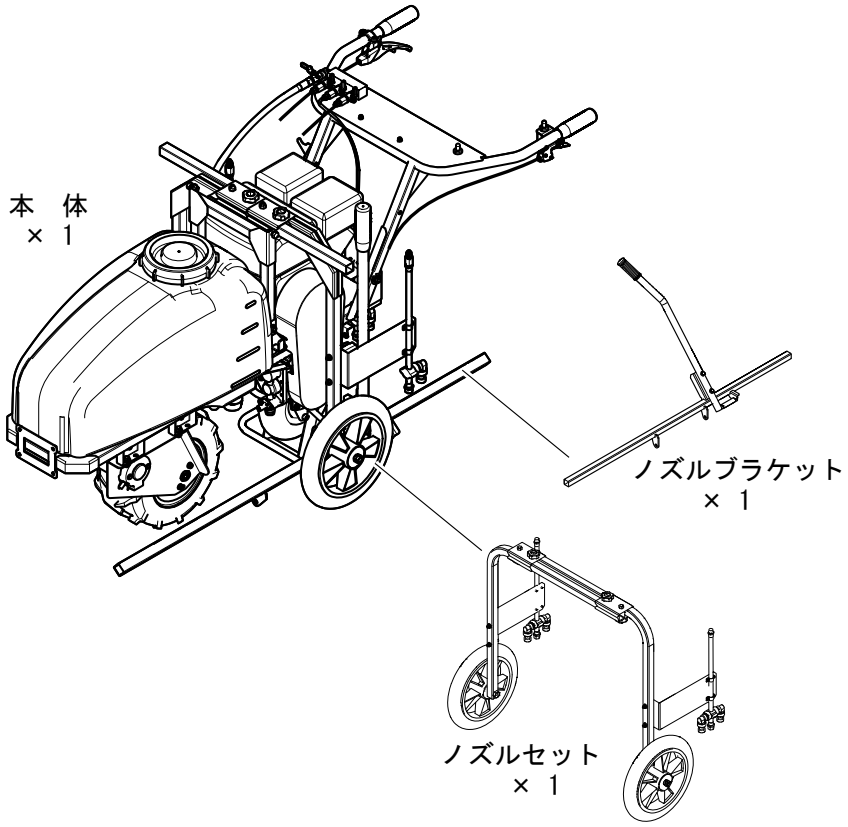
・ 適切な衣類と正しい保護具を身に付けてください。

☆農薬に直接触れたり吸引すると、薬害事故を引起こす恐れがあります 。



1．梱包部品一覧

・梱包の中には、下記部品が分かれて梱包されています。
・梱包を解きましたら、部品を確認してください。
・欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

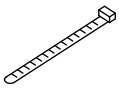




ナット
× 2



ボルト
× 2



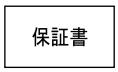
バンド
× 3



取扱説明書
× 1

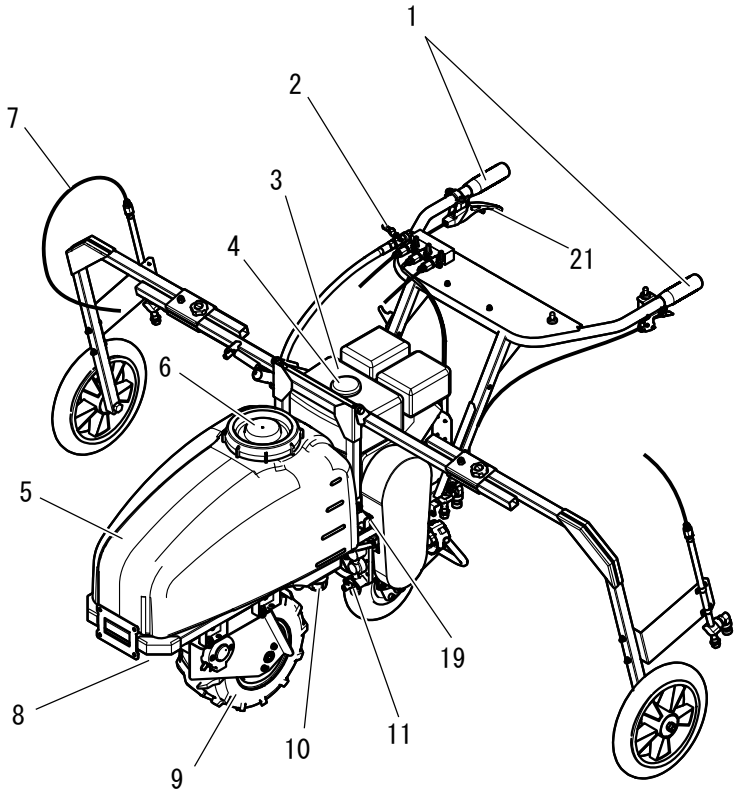


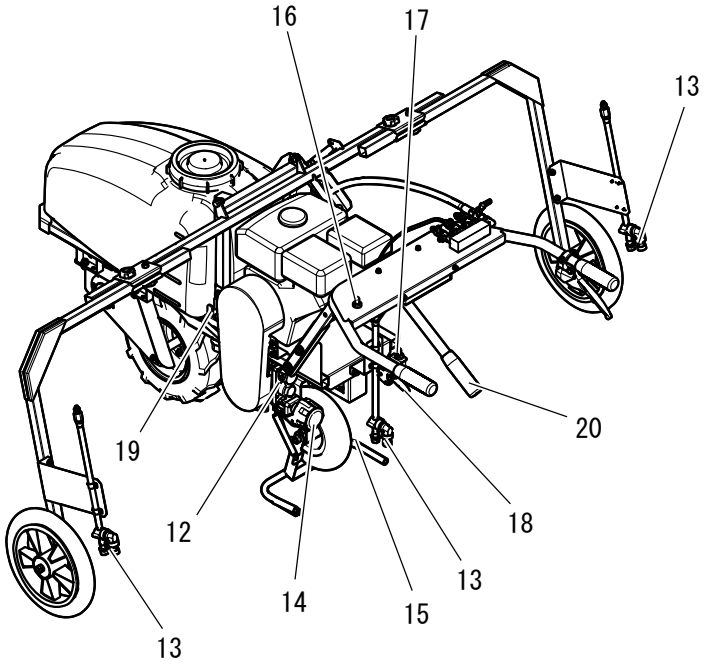
取扱説明書
（エンジン）
× 1



保証書
× 1

２．各部の名称と機能





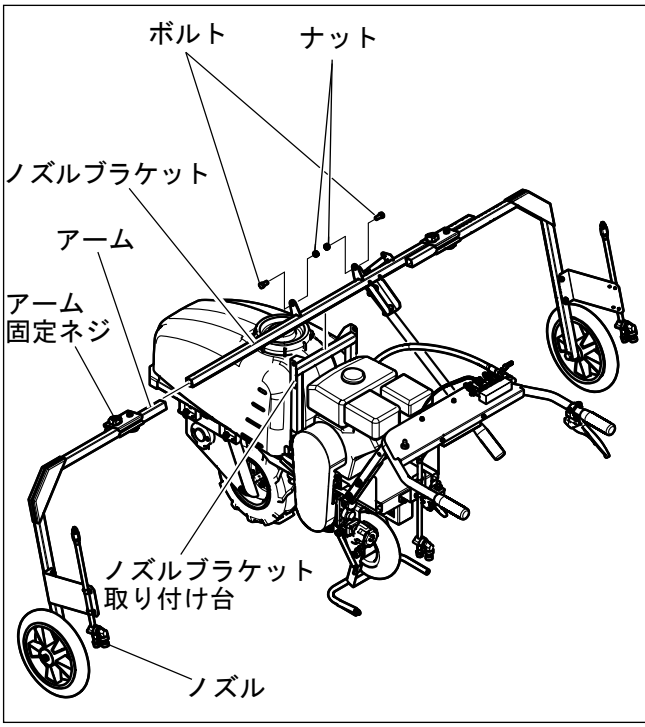
２．各部の名称と機能

番号	名　称	機　能
1	ハンドル	作業時に本体を支えます。
2	ノズルコック	噴霧を吐出、停止するコックです。
3	燃料タンク	燃料を入れる容器です。
4	燃料タンクキャップ	燃料タンクを密封するふたです。
5	薬液タンク	薬剤を入れる容器です。
6	薬液タンクキャップ	薬剤タンクを密閉するふたです。
7	ホース	薬液をノズルに送るパイプです。
8	走行モータ	走行用のモータです。
9	前輪	走行用のモータの駆動力を伝えます。
10	タンクドレンキャップ	薬液タンク内の薬液を排出します。
11	ポンプドレンキャップ	薬液ポンプ内の薬液を排出します。
12	薬液ポンプ	薬液を噴霧するためのポンプです。
13	ノズル	薬液を霧化する為のものです。
14	調圧ダイヤル	吐出圧を切り替るダイヤルです。
15	スタンド	製品を立てるときに使用します。
16	走行速度スイッチ	走行速度を切り替えます。 ・「中立」ではブレーキがかかりません。手押しの際は中立にしてください。停車や運搬時は「高速」もしくは「低速」にしてください。 ・段超えや登坂時など強い力が必要な場合は「高速」にしてください。また発電量を上げるためエンジンスロットルを上げてください。
17	進行方向切替スイッチ	前進後進を切り替えるスイッチです。 スイッチを前に倒すと前進、後ろに倒すと後進します。
18	走行レバー	握ると走行します。離すと止まります。
19	ロープフック	固定用ロープを掛けるフックです。
20	ノズル昇降レバー	旋回、畝替えのときにノズルを上げ下げできます。
21	ポンプクラッチ	握るとクラッチがつながります。

3．作業前の準備

3-1 組立

■ ノズル部の組立

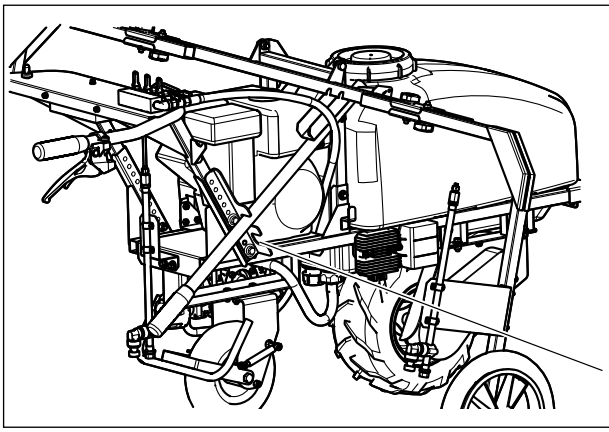


1. ノズルブラケットを付属のボルト、ナットでノズルブラケット取り付け台に組み付けてください。
2. アーム固定ネジを緩め、ノズルセットからそれぞれアームを取り外してください。
3. ノズルブラケットにアームを組み付け、アーム固定ネジで締め付けてください。このときノズルは進行方向後ろに取り付けるようにしてください。

※ アーム固定ネジは締めすぎないようにしてください。

※ 作業する場所に合わせてアームの間隔を調整してください。

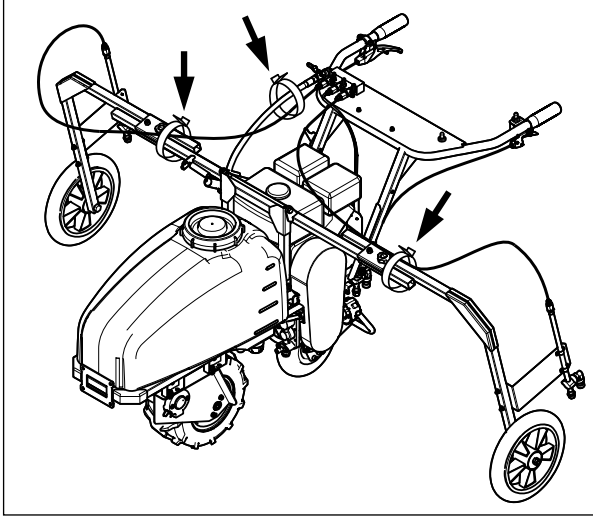
■ ノズル昇降レバーフック組み付け



フックはフレーム側の穴と全ての穴を合わせた位置が標準位置です。

ほ場条件によって上下させ、補助輪の接地高さを変更することができます。

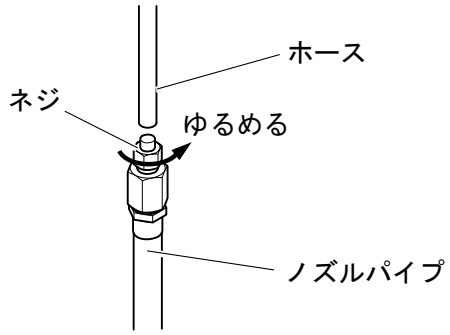
■ 散布ホースの固定



畝幅に応じ、アーム幅を変更した際に散布ホースがエンジンに接触しないように、付属のバンドで適宜固定してください。

3．作業前の準備

■ ホースの接続



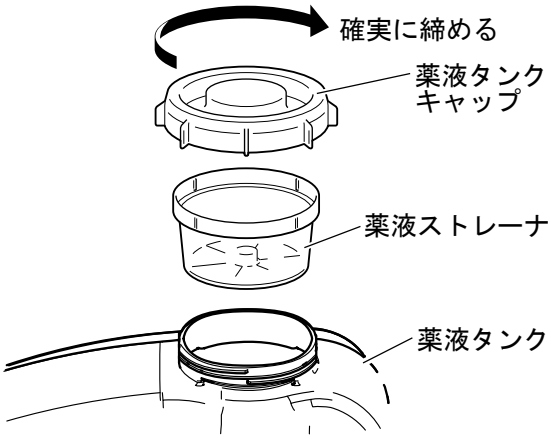
1. ノズルパイプ付属のネジを緩め、ホースを接続してください。
2. 緩めたネジを締めてください。

3－2　薬液の準備

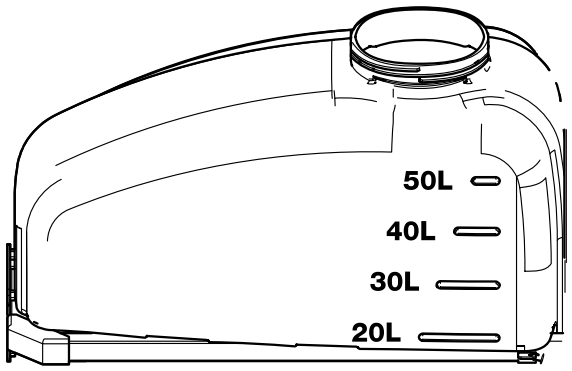
重　要

・ 製品の薬液タンク内で薬液を、直接調合しないでください。
・ 薬剤は濃度が均等になるように溶かしてください。固まりが残ると、ノズルの目詰まりの原因となります。

■ 薬液補給



・薬液補給前に必ずノズルコックを閉じ、タンクドレンキャップ、ポンプドレンプラグを締付けてください。
・薬液は必ず薬液ストレーナを使用して補給してください。（タンク内のゴミは、ノズルの詰まりの原因となります）
・薬液はタンクからあふれるほどの量を入れないでください。また、薬液がこぼれたときはすぐに拭き取ってください。
・薬液タンクキャップはしっかりと締め、運転時に薬液が漏れないようにしてください。



・タンクの横にあるマークは、各々 20, 30, 40, 50 Ｌ を示します。

3．作業前の準備

3－3 燃料の準備

⚠ 危　険

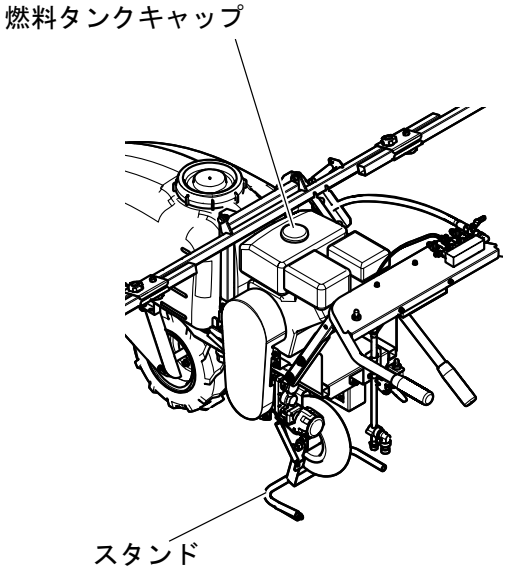
燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。
エンジンの取扱説明書をよく読み、必ず守ってください。



・ 燃料は引火しやすいので、取扱いは火災に十分注意してください。
　燃料補給中にタバコを吸ったり、裸火を近づけたりしないでください。
・ エンジンが熱いときや、エンジンを運転したまま燃料補給をしないでください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。

⚠ 警　告

・ 燃料を補給する際は手動式の燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）
　製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
・ 燃料を補給する際は静電気の火花放電を避けるため、補給前に製品および補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気をアースしてください。
　また、作業者自身も手のひらを地面や金属に接するなどしてアースしてください。
・ 燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
☆燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。



・ 燃料の補給作業は、必ず風通しの良い所で行なってください。
・ 燃料の補給作業は、製品と補給用タンクを地面に置いて行なってください。トラックの荷台の上などでは行なわないでください。
・ 必ずスタンドを立ててください。
・ 燃料は必ず規定レベル以下に補給してください。
・ 燃料タンクのキャップを開け、手動式の燃料補給ポンプなどでこぼさないように混合燃料を入れてください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）
・ 燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。ただし湿度が低いときは、乾いた布で拭くと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取るようにしてください。
・ エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から 3m 以上移動してください。
・ 補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。

４．エンジンの運転

⚠ 警　告

・ エンジンを始動するときは､本書の｢安全にご使用いただくために｣(5 ページ以降)記載の｢注意事項｣を守って正しく操作してください。

☆｢注意事項｣を守らないと、死亡を含む傷害や事故を負う原因となります 。

重　要

・ エンジンを始動する前に、走行レバーを握らないでください。
・ ポンプクラッチは切っておいてください。
・ スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引きヒモの 2/3 以上は引出さないでください。
・ スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
・ エンジンの始動、運転、停止は同梱のエンジン取扱説明書を、よく読んで行なってください。

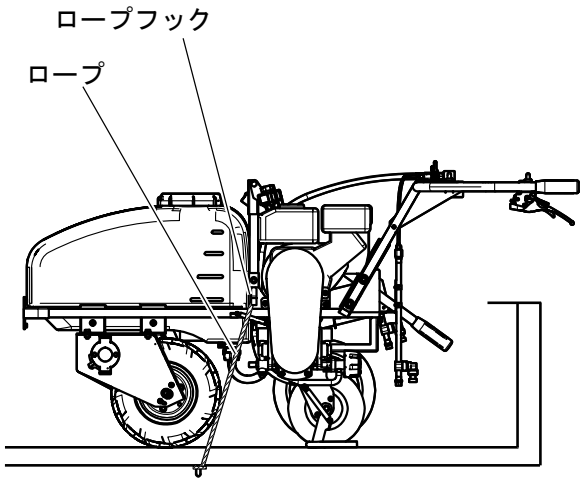
５．移動・走行

５－１　輸送

⚠ 警　告

自動車への積み降ろしをするときは、7 ページ以降「製品の取扱い」記載の注意事項を守って正しく操作してください。

☆注意事項を守らないと、死亡を含む損害や事故の原因となります 。



製品を移動するときやトラックなどで輸送するときには、次の項目を守ってください。

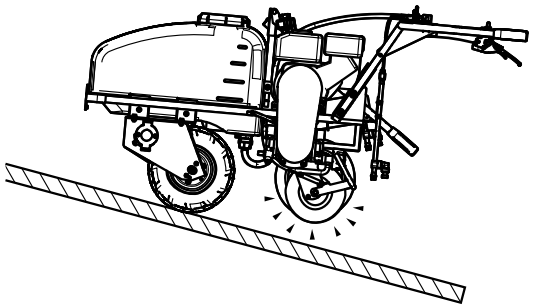
・ 製品の荷重に耐えられる自動車を使用してください。
・ 製品のロープフックにロープを掛け、固定してください。
・ 製品のエンジンを停止してください。
・ 薬液タンクをカラにしてください。
・ 積み込み後固定するときは、走行速度スイッチを「高速」か「低速」にしてください。
　※中立にしないでください。
・ 前進で製品を降ろさないでください。自動ブレーキが作動しバランスを崩す恐れがあります。

積み降ろし時の注意

製品を自動車に積み降ろしするときは、腰などの身体をいためないように十分注意して作業してください。

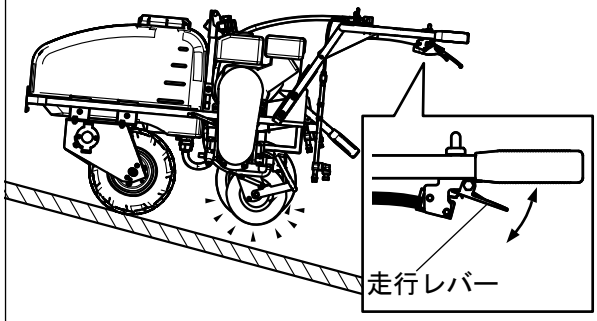
５．移動・走行

⚠ 警　告



積み降ろしの際、ハンドルを持上げ後輪を浮かせて行ってください。

☆前輪がスリップし、登坂不能やブレーキ作動時のスリップで滑落事故の原因となります 。



・下ろす際は走行レバーを断続的に離し、ブレーキをかけながら徐々に降りてください。

５．移動・走行

５－２　走行

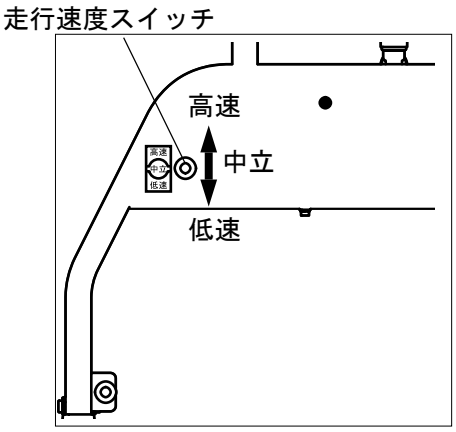
■ 走行

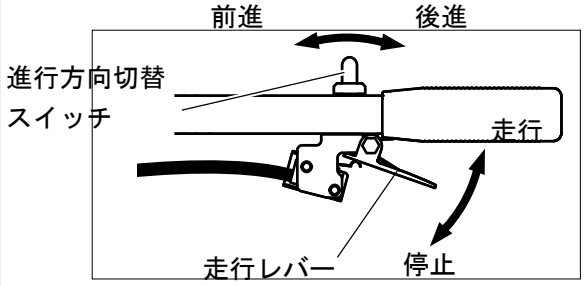
⚠ 警　告

カバーを外して運転しないでください。
☆ケガをする恐れがあります。

重　要

・ 走行するときは、必ず両手でハンドルを持って操作してください。
・ 走行はエンジンの発電による電動走行です。エンジンを始動しないと動きません。
・ 走行速度を再調整するときは、必ず走行を停止してください。
・ 大きな石や段差などでタイヤがロックしたり、走行速度が極端に遅くなる走路（軟弱な畦畦や登り坂など）では、保護回路が働き、モータが停止することがあります。モータが停止したときは、走行レバーを「停止」に戻してから、再度「走行」にして走行してください。





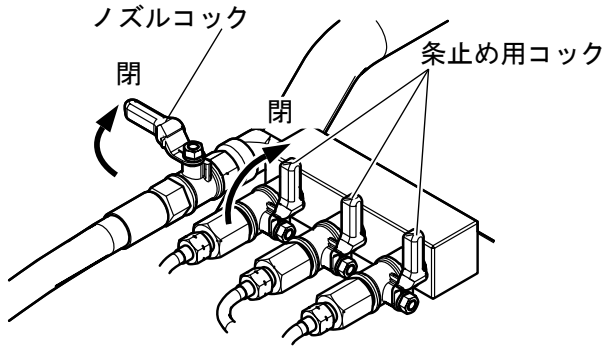
1. 走行速度スイッチを希望の速度に切替えてください。
2. 進行方向切替スイッチを希望の方向にして、ハンドル左の走行レバーを握ってください。製品が動きます。
3. 停止するときは、走行レバーを離して「停止」にしてください。
4. 駐車をするときは､走行速度スイッチを「高速」または「低速」にしてください。

※ ブレーキがかかります。

5. 下り斜面などで走行速度が上がりすぎると、自動でブレーキが作動します。しばらくすると解除され、走行が可能になります。
6. 後進するときは進行方向切替スイッチを「後進」にして走行レバーを握ってください。
7. 旋回するときは、ハンドルを少し持ち上げて後輪を浮かせてください。このときノズルが地面にぶつからないようしてください。

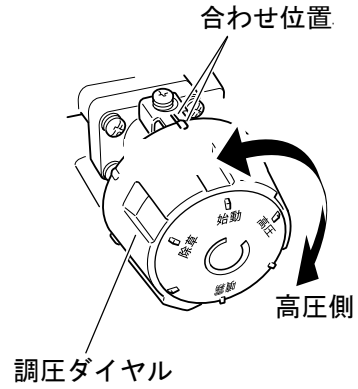
６．噴霧作業

■ ノズルコックの確認



・ノズルコックは噴霧作業を始めるまで必ず閉じてください。薬液系統に漏れがないか、接続状態を確認してください。

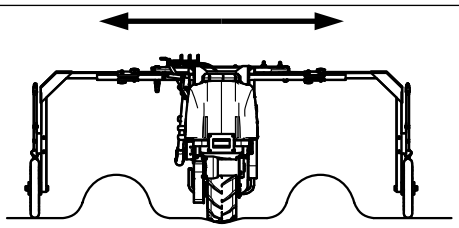
■ 圧力の調整



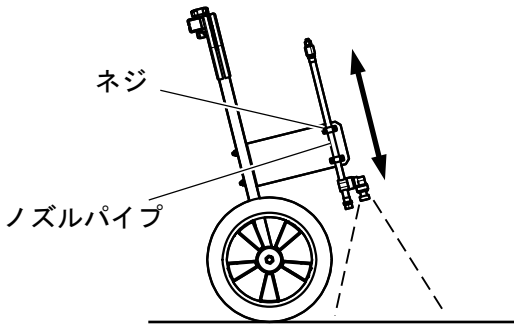
調圧ダイヤルの調整により吐出圧を 5 段階に切替えることができます。
圧力は、本体の合マークと使用したい調圧ダイヤルの合マークを合わせて調整してください。

始動　－　製品保管時とエンジン始動時
除草　－　ラウンドアップ、除草剤噴霧
噴霧　－　殺菌殺虫剤噴霧
高圧　－　殺菌殺虫剤噴霧

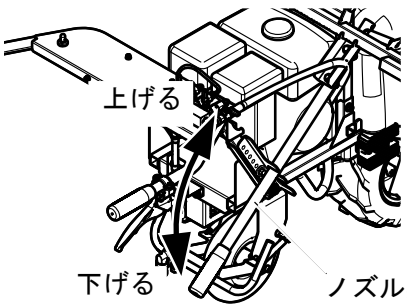
■ ノズルの調整



・畝間に合わせてアームの幅を変えることができます。アーム固定ネジをゆるめて畝間に合ったアームの幅にしてください。アーム幅を変えた後はアーム固定ネジを締めてください。（締めすぎないように注意してください）



・ノズルの高さを調整することができます。高さにより散布幅を変えることができます。ネジをゆるめ、ノズルパイプを上下させ、再度締め付けてください。



・ノズル昇降レバーでノズルを上下することができます。旋回、畝間替え時に使用してください。

7．点検・整備

7－１　点検・整備の目安

・お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行なってください。
・エンジン部分はエンジンの取扱説明書を参照してください。

重　要

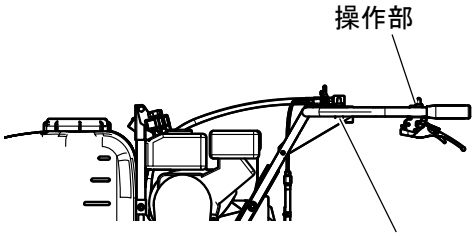
年単位および月単位の整備間隔については、実際の使用状況と経験から判断し、必要に応じて点検・整備の回数を増やしてください。

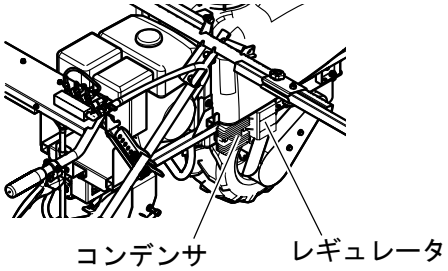
点検・整備箇所	点検・整備内容	掲載ページ	毎回	毎月	毎年
ネジ、ボルト、ナット類	点検／増し締め／交換	―	●		
ポンプベルト	点検／調整	22		●	
走行チェン	点検／調整	23		●	

7－２　点検・整備要領

重　要

・ 作業が終了した後は、製品をよく清掃し常に最良の状態に点検・整備しておくことが、次回の作業を順調に進めるのに最も大切なことです。
・ 点検・整備をするときは、必ずエンジンを停止してください。
・ 製品の外側、車輪を洗うときは、電気系統部品や操作部に水をかけないでください。

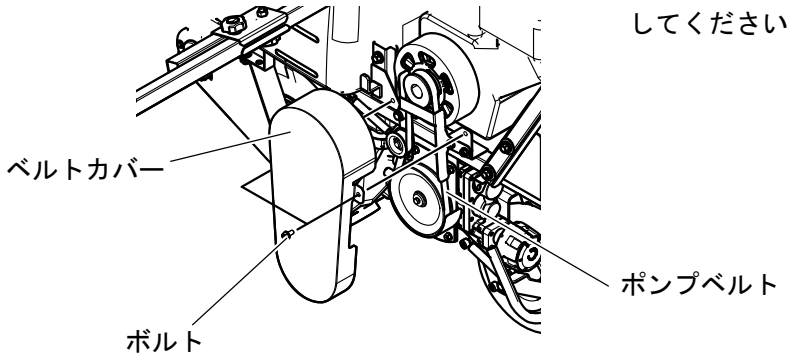




・ 洗浄機などによる高圧洗浄しないでください。故障の原因となります。
・ ご不明の点については、お買い求めの販売店にご相談ください。

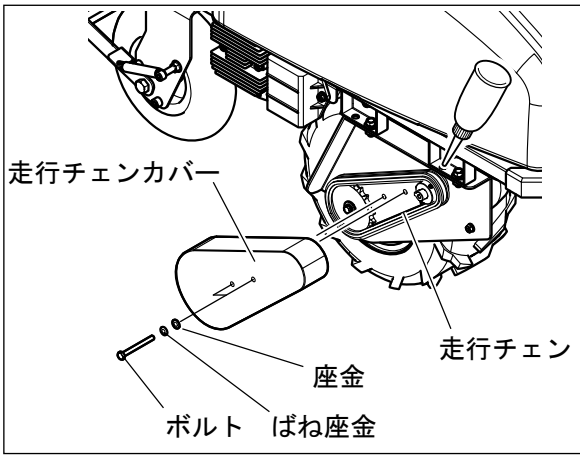
■ ポンプベルトの点検

ボルト２本とベルトカバーを外し、ワイヤを調整してください。



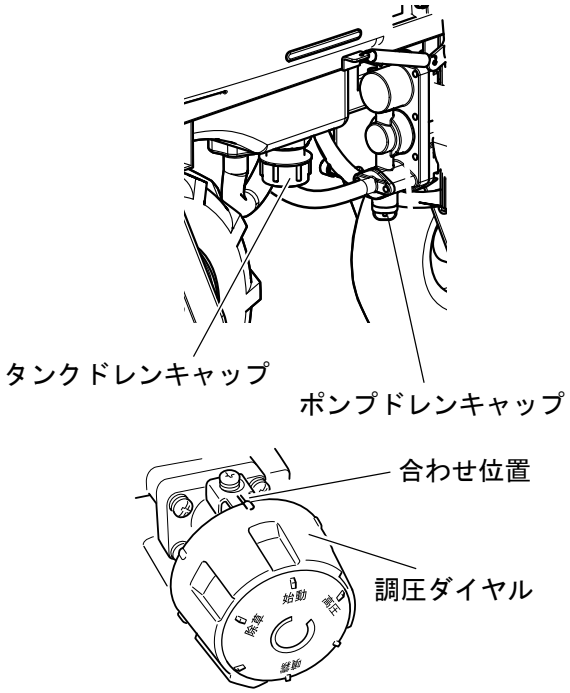
7．点検・整備

■ 走行チェンの点検



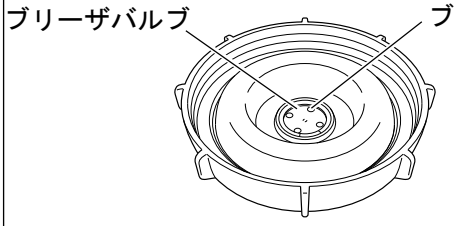
1. 2 組のボルト、ばね座金、座金を取り外し、走行チェンカバーを取り外してください。
2. 走行チェンに注油してください。
3. 注油後はチェンカバーを取り付けてください。

■ 薬液タンクと噴霧装置の点検／清掃



・その日の作業が終わったら、清掃してください。
・薬液タンクに水を入れ、エンジンを始動してください。
・ノズルコックを開いて 2 ～ 3 分間ノズルで噴射し、噴霧装置の内部を清掃してください。
・洗浄後は薬液タンク内の洗浄水を完全に排出してください。
・ポンプドレンキャップを外し、薬液ポンプ内の洗浄水を完全に排出してください。
・排出後、ポンプドレンキャップを元通り取付けてください。
・調圧ダイヤルを「始動」位置にセットしてください。
・製品に付いた薬液も洗い流してください。

■ 薬液タンクブリーザの清掃



・ブリーザバルブとブリーザ孔は定期的に清掃してください。
・ブリーザバルブのシールの不良は、薬液の漏れを引起こします。
ブリーザ孔の詰まりは、吐出圧力の低下、あるいは薬液タンクの破損を引起こす原因となります。

7．点検・整備

7－３　故障診断表

故障内容	故障診断	原　因	対　策
エンジンが始動困難または始動しない。	キャブレタに燃料がない	燃料フィルタの目詰まり	清掃か交換
		燃料系統の目詰まり	清掃
		キャブレタの不良	販売店への依頼
	キャブレタに燃料がある	キャブレタの不良	販売店へ依頼
		燃料の変質	新しい燃料と交換
	クランク軸が回転しない	エンジン内部の故障	販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れている、濡れている	燃料の変質	新しい燃料と交換
		電極のすき間が正しくない	調整か交換
		カーボンが付着している	清掃か交換
		電気的障害	販売店へ依頼
エンジンは始動するが加速できないまた　加速不十分		エアフィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料フィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料通路の詰まり	販売店へ依頼
		キャブレタの不良	販売店へ依頼
		スパークプラグの不良	清掃、調整か交換
		排気口・マフラ出口の詰まり	清掃
走行しない		走行速度スイッチが中位	「高速」か「低速」にする
		走行スイッチの不良	販売店へ依頼
		コントローラ不良	販売店へ依頼
		ハーネスの不良	販売店へ依頼
薬液が噴霧されないまたは正常に出ない	噴霧の異常ムラ	吸水弁のつまりか損傷	分解、点検か清掃
		ピストンパッキンへの摩耗	交換
		ベルトの摩耗	調整か交換
	細かい霧にならない	調圧弁、弁シートの摩耗	交換
		Uパッキンの摩耗	交換
		薬液系統(水シールやパッキン類)の摩耗	交換
		ホースに穴や裂け目がある	交換
		本製品に適当でないノズルを使用している(吐出量の大きいノズル)	交換
		ベルトの摩耗	調整か交換
	薬液が全く出ない	ゴミ・異物による薬液系統の完全な詰まり	清掃
		薬液タンクに薬液がない	補給
		薬液ポンプの破損	修理

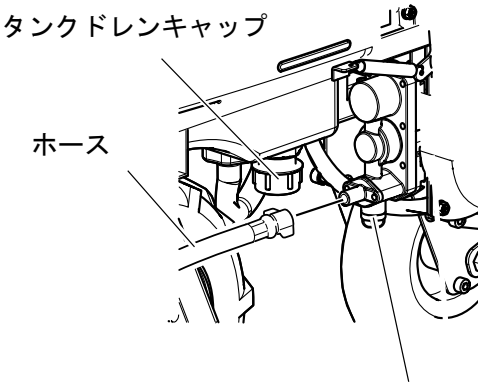
・点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
・表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
・補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

7．点検・整備

7－４　長期保管（３０日以上）

⚠ 警　告

製品を保管するときは、必ず正立状態にしてください。
☆エンジンに燃料が残っていると、燃料が漏れ火災の原因となります 。



製品を長期間（30 日以上 ）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 薬液タンクとホースを清水で清掃してください。薬液タンク内の洗浄水はタンクドレンキャップを外して排出してください。
   ポンプドレンキャップを外し、薬液ポンプ内の洗浄水も排出し、調圧ダイヤルを「始動」位置にセットしてください。
2. 本書に定められた定期的な点検をしてください。製品のすべての部分を検査し、調節してください。スクリュ・ナット類が締まっているか確認し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。
   A. 必要ならば掃除をし、修理をしてください。
   B. サビ止めに、金属部分には薄く機械油を塗ってください。
3. 製品が十分冷えて乾いてから、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

●製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください 。

８．仕様

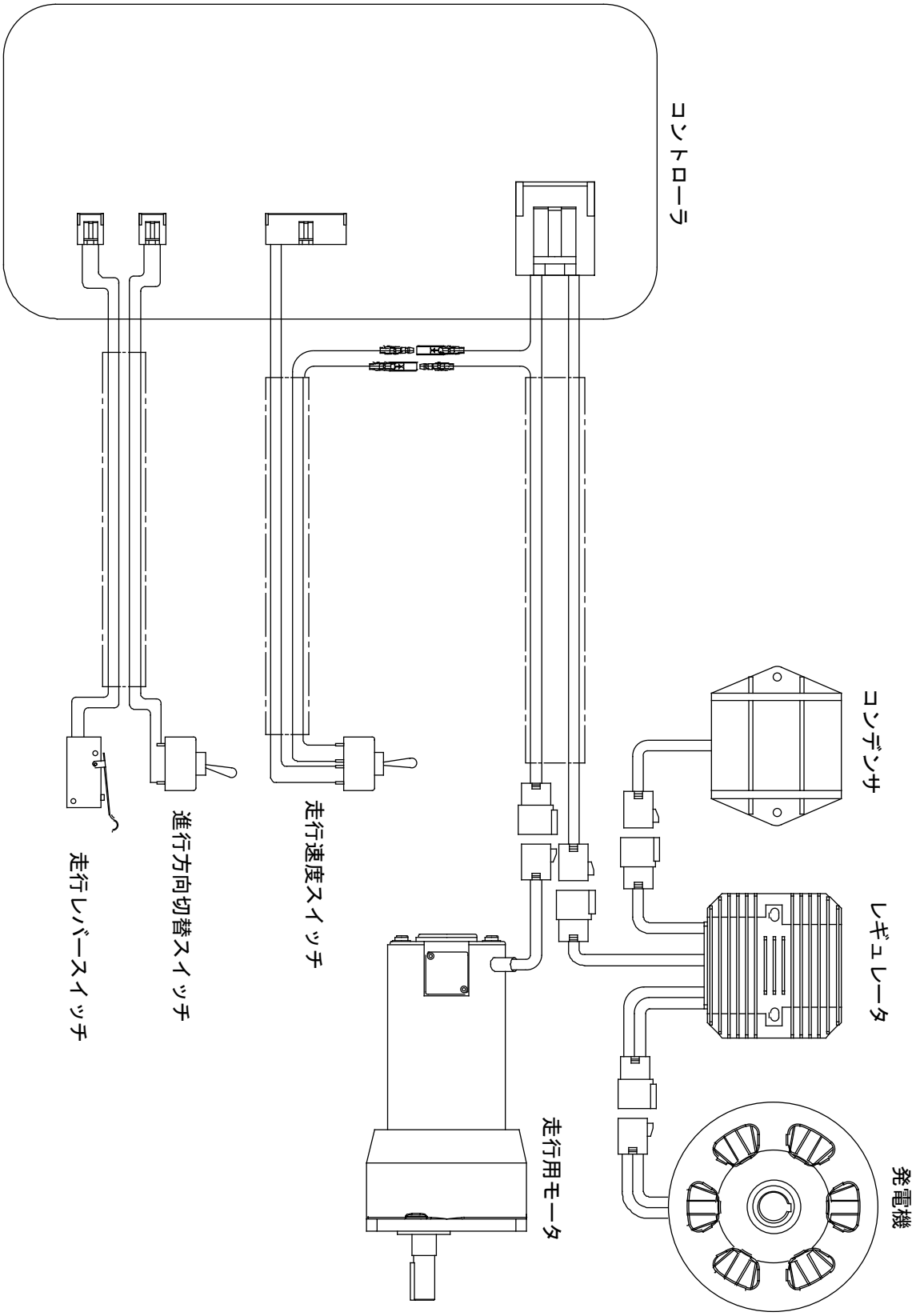
８－１　主要諸元

＊ この仕様は、予告なしに変更することがあります。

区　分	項　目		TSP50V-KN/W
質量	（燃料除く）	kg	60
要領	燃料タンク	L	1.6
	薬液タンク	L	50
寸法	長さ	mm	1,540
	幅	mm	1,290
	高さ	mm	820
エンジン			GB101P
	形式	―	空冷４サイクル単シリンダ
	排気量	mL	98
	スパークプラグ	―	NGK BPR6HS
	始動方式	―	リコイルスタータ
モータ	方式	―	直流モータ
	出力	―	24V-200W
発電機	形式		３相交流 500W
燃料			レギュラーガソリン
走行速度	高（前進・後進）	km/h	2.9-
	低（前進・後進）	km/h	1.7
薬液ポンプ	形式	―	横型水平対向２連ピストン
	給水量	L/min	7.7
	圧力（除草）	Mpa	0.7
	（噴霧）	Mpa	1.7
	（高圧）	Mpa	2.5
ノズル	吐出量（１個あたり）	L/min	0.75（0.7Mpa 時）

8．仕様

8－2　配線図


コントローラ
コンデンサ
レギュレータ
発電機
走行用モータ
走行速度スイッチ
進行方向切替スイッチ
走行レバースイッチ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-006642
X753418-0105　　2408e 0648 ES

© 2017 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。